

新たな自治体交流を提案

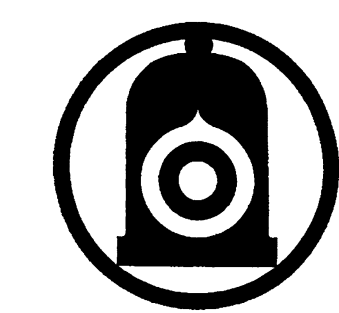
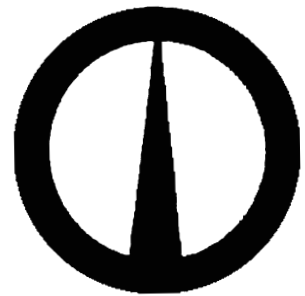
登別市・白石市・海老名市 市長てい談

少年スポーツや物産の販売などを通して、交流を展開している宮城県白石市と神奈川県海老名市。歴史的な縁と誘致企業を通じた縁で結びついた姉妹都市などの首長が、昨年11月6日、白石市に集い、これまでの姉妹都市交流などを生かした新たな連携について話し合いました。

北海道、東北、関東の地域性と、それぞれが持つ魅力を生かした新たな交流と連携が飛び出す『てい談』となりました。
※てい談（鼎談）…三人が向かい合って話し合うこと



登別市長 **小笠原春一**
おがさわらはるいち
昭和42年2月18日登別市生まれ、43歳
平成元年3月、東京農業大学農学部卒業
同年4月から家業の造園会社の専務取締役
平成20年8月登別市長に初当選、現在1期目



白石市長 **風間康静**
かざまこうじょう
昭和35年12月23日白石市生まれ、49歳
昭和58年3月、立正大学仏教学部卒業
平成3年4月から学校法人ひかり幼稚園副園長
平成16年11月白石市長に初当選、現在2期目

海老名市長 **内野の優**
うちのまさる
昭和30年10月13日海老名市生まれ、54歳
昭和53年3月、専修大学法学部卒業
昭和58年10月から海老名市議会議員（4期）
平成15年11月海老名市長に初当選、現在2期目



姉妹都市「白石市」とさらなる友好交流を…
『海老名市』

白石市は、西の蔵王連峰と東の阿武隈山系に囲まれた雄大な自然と清らかな水に恵まれた城下町です。

戊辰戦争で、旧白石家中は、家屋敷と生活の糧を失い、侍として北海道に渡るか、農民となり以後の人生を送るかの二者択一を迫られました。多くの者が北海道へ旅立ち、新天地に望みを託し、困難を乗り越えながら開拓に励み、現在の登別市発展の礎を築いたのです。

この歴史的な縁で、友好と理解を深め、お互いに協力しながら発展することを願い、昭和58年10月26日、姉妹都市となりました。

海老名市は、神奈川県のおぼ中央に位置する田園都市。奈良時代からの歴史を重ねて、数多くの文化財があります。

また、鉄道3線9つの駅があるとともに、今春にはインターチェンジも供用開始になるなど、交通至便なまちです。

現在、両市とはスポーツ・文化・物産などをはじめ、さまざまな交流を盛んに行っています。